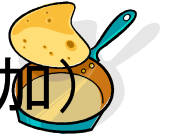


6月 ILP (調理実習・シンポジウム参加)



平成21年6月20日(土)大分市の県総合福祉会館において在宅障害者支援ネットワーク第10回総会記念シンポジウム「安心して暮らせる地域をつくる」が開催されました。当日は、約130人の参加者がありました。

最初は、千葉県の野沢和弘さんが、多くの人たちと一緒に「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」をつくって、「誰一人見捨てない」という地域づくりに取り組んでこられ、この条例に市民の立場からどのように参加し関わったか、色々なエピソードを交えながらの報告でした。県知事や行政側の前向きな姿勢や協力、障害者や家族が「生きづらさ」を感じた約800の事例の検証から作業を始めたこと等を話されました。そして、「市民と自治体の連携を考える」をテーマにシンポジウムが行われました。

最後に、徳田さんが「大分でも条例づくりを通してより良い地域づくりを実現させよう」と呼びかけてシンポジウムの終了となりました。当事者《障がい者》

でありながら「世の中ってこんなものだ」と思い諦めていた事もたくさんありましたが、このシンポジウムに参加して、今自分に何ができるかが問われている様な気がしました。何か小さなことからでも皆で協力して取り組んでいけたらと思いました。

まえだ たつろう
前田 辰郎



5月30日(土) ILP調理実習で当事者3名が「焼うどん」を作りました。

介助者の方にレシピを見ながら指示を出し、2人で試行錯誤しながら作った焼うどんは三者三様でサイコーでした。

M

